【目指す児童像】
考える子　健康な子
親切な子　がんばる子
よく働く子

しずみ

2026.10.29
ひたちなか市立
中根小学校
学校だより NO.7

児童数（1年生：45名　2年生：53名　3年生：50名　4年生：57名　5年生：46名　6年生：51名）　計302名

前期が終わり、後期が始まりました。終業式では、子どもたちに、自分ができるようになったことや頑張ったことを振り返るとともに、自分を支えてくれた人への「ありがとう」を大切にしてほしいと話しました。日々の学校生活を振り返ってみると、一人一人がさまざまな場面で自分なりの目標をもち、挑戦し、少しずつ成長してきたことを感じます。その成長は、決して一人だけの力によるものではありません。友達と励まし合ったこと、先生と一緒に考えたこと、そしてご家庭で温かく支えていただいたこと。そうした経験の積み重ねが、子どもたちの力になっています。

後期は、今の学年のまとめに向かう大切な期間でもあります。しかし、まとめることだけを意識するのではなく、新しいことに挑戦する時間にもしてほしいと思っています。中根小学校が大切にしている「たい・よう」。「やってみたい」「もっと知りたい」という自分の思いをもち、それを「やってみよう」という一歩につなげる。その小さな一歩の積み重ねが、大きな成長につながります。前期にできるようになったことを自信とし、まだできていないことはこれからの目標にする。友達のよさにも目を向け、互いに認め合い、支え合う。そんな子どもたちの姿がたくさん見られる後期にしていきたいと思います。保護者の皆様には、引き続き本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

遠足に行ってきました（4年）







10月16日（金）に、第4学年が大子方面に遠足に出かけました。この遠足のねらいは、「社会科『わたしたちの茨城県』の学習に興味をもたせ、実際に大子町を見聞し学習に役立てる。」「集団行動を通して、友達と共通の体験をすることにより、よりよい人間関係を築く。」「公共の場所での行動の仕方やマナーを知り、実践する。」です。袋田の滝では、迫力満点の滝を目の前にして、「すごーい！」と目を輝かせながら大きな歓声を上げていました。立ち寄ったお土産屋では、誰に何を買っていこうかと迷いながら、お土産を選んでいました。奥久慈憩いの森では、みんなでお弁当やお菓子を食べたり、竹とんぼをつくって飛ばしたりして、楽しむ姿が見られました。黒田りんご園では、見事に色づいているりんごを見て、「こんなにたくさんの種類があるんだ！」と驚いていました。りんご栽培が盛んな理由や、収穫の時期について、りんご園の方から話を聞いた後に、それぞれ気に入ったりんごの実を丁寧に収穫することができました。笑顔の絶えない、思い出に残る遠足となりました。

さつまいもをたくさん収穫しました









10月6日（火）に、さつまいもの栽培を教えていただいているY先生のご指導のもと、ときわ会のボランティアの方々と、「いもほり会」を実施しました。この活動は、「全校児童でさつまいもを育てるという勤労生産的な活動を通して、勤労の尊さや生産することの喜びを体得すること。」「地域の方々や異学年との交流を図ること。」をねらいとして行いました。「はじめの会」を3年生がオンラインで行い、その後、学年ごとにいもほりを実施しました。9月の大雨の影響で畑の土が多くの水分を含み、とても掘り出しにくい状況でしたが、児童は、必死にさつまいもを掘り起こしていました。中には、顔の大きさほどあるさつまいもを掘り起こし、大きな歓声を上げている子もいました。また、Y先生が運転するさつまいものトラクター型の掘り取り機に、3年生は順番に乗り、機械堀りの体験をさせていただきました。滅多にできない体験に、児童は、そわそわしながら自分の順番を待っていました。